

考えてみっぺ、村の学校

～今年の飯館村の教育～ 第11回



幼稚園にいっぞー!

Q 4月から村の幼稚園に入園します！
あらためて、幼稚園ってどんなところ？

A 生まれてはじめての学校が幼稚園です♪ 少し覗いて見ましょう！



お友だちと仲良くできるか心配で...
幼稚園では、遊びながら相手の気持ちを感じたり、約束を守ったりすることを経験していきます。一步一步、集団生活に必要なことを学んでいきます♪



食べ物の好き嫌いが気になって...
村の幼稚園は、完全給食！バランスの良いメニューが美味しく食べられます。家では食べられなくても、園に来ると食べられるようになりますよ♪



その他には...
☆季節に合わせた行事の体験。
☆たくさんの絵本や遊具でのびのびと遊べます。
◀年長児が絵本の読み聞かせもしてくれます♪

詳しくは、
草野・飯樋幼稚園までお問い合わせ下さい。
〒960-1304
福島市飯野町大久保字芝垣16-2
☎024-573-1150

子ども達が、体験して学んでいく場所。そこが幼稚園です♪

しあわせ運べるように
飯館村教育委員会 学校教育指導員 海野 和夫

地震にも 負けない 強い心をもって亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう。傷ついた「ふるさと」を もとの姿にもどそう。支え合う心と 明日への希望を胸に響きわたれ ぼくたちの歌。生まれ変わる「ふるさと」のまちに届きたい わたしたちの歌 しあわせ運べるように

メモディをお届けできないのが残念です。この歌は、阪神・淡路大震災の直後から神戸で歌われ始め、現在では毎年の兵庫県での追悼記念式典や災害に襲われた各地で歌われています。この曲の作詞・作曲者である臼井真先生が2月13日、飯館村の幼稚園と小学校を訪れてくださいました。幼稚園では、子ども達が和太鼓の演奏とこの歌を歌ってお迎えしました。小学校では、4年生が「歌の力を信じて」と題する模範授業を受けました。いのちの大切さを感じ取り、災害に遭った人たちの悲しみに寄り添う心をもてるように、との授業でした。

臼井先生は、無事だった子どもたちと初めてこの歌を歌ったとき涙がこぼれ、「ともに歌える、これが幸せ」と思ったそうです。飯館村の子どもたちも「ともに」の意識で、家族や友達、そして飯館村や数多くの人達に「幸せを運べるように」育って欲しいと願っています。

教育相談の申し込み 飯館中学校教頭まで
☎024-573-1161



▲先生自作の歌の面白さに目を輝かす園児たち

臼井真先生プロフィール
音楽教諭として神戸市立西灘小学校に勤務する臼井先生。阪神淡路大震災直後に傷ついたふるさととの再興を願って作詞作曲した「しあわせ運べるように」は今も歌い継がれ、東北の被災地でも大切に歌われています。



響きわたれ ぼくたちの歌

臼井真先生の訪問と「いのちの授業」

神戸市立西灘小学校の音楽教諭・臼井真先生が、村の幼稚園及び小学校を訪れ、音楽を通して子どもたちと交流しました。幼稚園では先生が、これまで子どもたちのためにつくった350曲余りの歌の中から、思わず笑ってしまうような楽しい歌を、自ら歌ってくださいました。また、園児は太鼓の演奏を披露し、臼井先生作詞作曲の「しあわせ運べるように」も一緒に歌いました。臼井先生は園児たちに「歌は音楽の国から来た天使。心へのけがをした人の傷が小さくなるよう、皆さんのきれいな声で歌ってほしいです」と語りかけていました。

続いて訪問した小学校では、4年生を対象に「いのちの授業」が行われ、臼井先生は、神戸の震災のようすを体験から語り、映像資料で被災者の言葉なども紹介しながら、児童に「いのちの大切さ」を伝えました。児童は、先生の一言一言をかみしめ



▲先生の指揮を見つめ心をこめて歌いました

るように聞き入り、我が子を亡くした親の悲しみが語られる場面では、涙を浮かべるようもありました。授業の最後には、全員が臼井先生の指揮で「しあわせ運べるように」を歌いました。「力強い歌声がうれしかった」と臼井先生。児童たちは「神戸の人の経験を聞いて胸がズキンとしました」「この歌は半端な気持ちでは歌えないと思います。心をこめたい」と学びを振り返り話していました。



▲「しあわせ運べるように」の演奏後に記念撮影



▲震災を語る静かな言葉に聞き入る4年生児童

草野・飯樋・白石小学校
草野・飯樋幼稚園
2/13

